

働きやすい環境の整備で労働生産性を向上 石垣島から「島の先人の思い」をブランド展開

石垣島にある住宅・店舗の建具や家具、生活道具を作る木工会社。近年、最新技術のCNC加工やレーザー加工の分野にも進出。長時間労働や人手不足解消のため、2008年頃から業務改革や最新の機械・設備の導入に取り組み、2015年に開始したアシスタント制度や働き方の見える化で、働きやすい職場環境を整備し、労働生産性の向上を実現。地元の木工業関係者と共に、継承が危ぶまれる八重山諸島産木材とその知識や技術の普及に力を入れており、同社では島産木材による商品をブランド展開。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 沖縄県石垣市字石垣1838 | ● 設立 | 2000年 |
| ● 電話/FAX | 098-083-3028/098-083-3457 | ● 資本金 | 300万円 |
| ● URL | http://www.uezato-wood-work.com/ | ● 従業員数 | 39人 |
| ● 代表者 | 取締役社長 東上里 和広 | | |



個性豊かなスタッフ陣が「島の先人の思い」をブランド展開

単に「物売る」のではなく、「先人の知恵や物に対する考え方の根っこにある部分を物語にして、商品に関連付けて」販売する。こうしたコンセプトを実現しているのが、70種以上もある多様な島の木のごとく、異業種を経験してきた個性豊かなスタッフ陣。適材適所で商品開発や資料作りに取り組み、相互に融合することで他社とは異なるユニークな商品開発に繋がっている。更なる付加価値向上を目指し、ブランディングの専門家も招聘して、コンセプトメイキング、島材の特徴を活かした商品づくりに一段と注力している。



個性豊かな島材を使った商品

スケルトン経営で安心を確保、モチベーションをアップ

給料が見える化したうえ、30年先までの昇給ペースも社員に開示しているほか、就業規則等の資料をシンプルに見える化し、同社に安心して勤務でき、落ち着いて能力開発も行える環境を提供。さらに賞与は経常利益の8%を還元することを約束し、毎月の収支と経常利益を社員に開示することで、モチベーションもアップ。労働時間の見える化による、計画的な業務遂行推進も相まって、労働生産性が向上した。



スケルトン経営を導入した職場の模様

アシスタント制の導入、「モッコク会」の設立と活動

長時間労働や人手不足解消を目指し、完成した商品(=ゴール)が同じであれば、熟練の職人が、全工程を作業しなくても問題ないとして工程を分割、アシスタント(パートタイマー)制の導入により分業・効率化した。また、八重山諸島産木材(島材)に関する知識や技術が忘れ去られるのではないかと懸念がある中で、同社社長が八重山にある各木工所に声をかけ、賛同した有志により、島材の知識の保存・普及を目的とした「モッコク会」を設立し、活動に力を入れている。



一同に会した社員、アシスタント